

ますもとマニフェスト評価（概要）

梶本市長が3期目の選挙に立候補した際、111項目の「ますもとマニフェスト」を市民に示し、選挙を戦い、勝利された。民主党京都府連も梶本市長を推薦したことから、任期が満了するこの時期に「ますもとマニフェスト」に対する評価を行うこととした。

何れも、十分に取組まれたと評価したものを○、一応取組んでいると評価したものを△、取組んだものの課題が残るものを◇、取組めていないものを×、で表した。

総 評

「ますもとマニフェスト」は7本の柱からなっている。個別評価は各項目に委ねるが、この7本の柱については○が2本、△が4本、◇が1本との結果であり、概ね、しっかりと取組まれたと評価している。特に「新景観政策」の実施や子育て支援・教育充実の点では、運用や成果の点で課題を残している面もあるが、今日までの問題にしっかりと着手し、将来の京都市の目指すべき方向が示されたことから大いに評価をしたい。一方、基盤整備については進捗状況の遅れも見られ、期待に応えるまでには至っていない。

1 . 行財政改革と市民参加の一層の推進

全体評価 ()

行財政改革を積極的に進めるとともに、行政評価条例の制定や市民参加の努力がなされ、一定の成果が上がった。一方、この1年余続く職員不祥事問題は、根絶に向けて取り組まれているものの、さらなる問題解決のために取り組みが必要である。

- (例) ・大胆・迅速な行財政改革の更なる推進
 ・職員の意識改革と信賞必罰 ×
 ・ワークショップ事業の拡充

各項目評価集計

評価				×
項目数	5	5	4	2

2 . 歴史都市・京都の創生と美しいまちづくり

全体評価 ()

歴代市長が誰もなし得なかった「国家戦略としての京都創生」の取り組みがなされ、運用に課題を残しながらも「新景観政策」を実施したことは、全国の先進的モデルと評価されている。一方、御池シンボルロードの取り組みや緑豊かな公園の整備等には課題を残している。

- (例) ・「歴史都市京都再生特別法(仮称)」の制定
 ・地区計画による用途・高さ規制の強化
 ・京都国際マンガミュージアム(仮称)の開設

各項目評価集計

評価				×
項目数	4	1 1	2	0

3 . 産業・経済の活性化と5千万人観光都市の実現

全体評価（ ）

中小企業融資対策、ベンチャー育成、伝統産業活性化等の下支えの条件は整備されているものの、なお京都の景気回復までには至っていない。一方、京都観光振興会議などの努力により、21世紀の基幹産業としての京都観光は、あと少しで5千万人の大台に到達する状況にある。

- (例)
- ・中小企業向け無担保無保証人型新融資制度創設
 - ・ベンチャー育成と企業誘致促進
 - ・「伝統産業活性化条例(仮称)」の制定
 - ・外国人観光客の5大重点市場への情報拠点設置

各項目評価集計

評価				×
項目数	5	9	2	0

4 . 子育て支援の充実と次代を担う子どもたちの教育環境の整備

全体評価（ ）

子育て支援、教育ともすべての政策項目にわたりハード・ソフトの両面で着実に実施できている。待機児童の解消では、数値目標を達成し実際の解消まであと一步のところまでできている。施設整備では、経費削減し目標年次を前倒しした好事例も見られる。

- (例)
- ・学童保育待機児童の解消
 - ・小中学校の全普通教室冷房化
 - ・「みやこ子ども土曜塾」創設

各項目評価集計

評価				×
項目数	6	9	0	0

5 . 安心・安全で健やかにくらせる福祉のまちづくり

全体評価（ ）

安心・安全をキーワードとした戦略や条例制定、並びに政策推進については着実に実施されている点は評価できるが、市民に広く定着するには至っていないものも見受けられる。一方、施設整備は整備時期に遅れが生じていたり、検討段階に留まっているものもある。

- (例) ・「地域安心安全ネット」の構築
 ・消防活動総合センターの整備
 ・介護基盤の整備
 ・男女共同参画の推進

各項目評価集計

評価				×
項目数	3	13	4	2

6 . 環境先進都市をめざす総合的な環境政策の推進

全体評価（ ）

ごみ減量など市民協力が必要な政策は成果になお時間を要するものも見受けられるが、地球温暖化対策条例、バイオディーゼル燃料化事業など全国をリードする施策の他、施設整備や庁内取り組みは着実に実施できている。

- (例) ・地球温暖化対策条例の制定
 ・バイオディーゼル燃料化プラントの設置
 ・ごみ処理処分量20%削減

各項目評価集計

評価				×
項目数	5	5	1	0

7. 市民生活と経済活動を支える都市基盤整備と歩くまちの実現

全体評価（ ）

都市基盤整備事業については時間を要するものが多いが、東西線の太秦天神川駅までの開通、新十条トンネル開通の予定も立った。しかし進捗状況が遅れている事業もあり、課題が残されている。なお「歩くまち京都」の交通社会実験を評価するが、実現に向けてさらに課題は多い。

- (例)
- ・天神川駅周辺整備事業の推進
 - ・市バスの利便性向上と利用促進
 - ・京都高速道路・京都第二外環状道路の整備推進

各項目評価集計

評価				×
項目数	1	6	5	2